

全国協議会 ニュース

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:野村 正満
http://www.marrow.or.jp/ E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

歓迎！ 日赤が大幅方針転換

骨髄バンクのドナー登録で積極姿勢へ

日本赤十字社は、骨髄移植推進財団と並んで公的骨髄バンク事業には大きな役割を担っています。しかしながら、これまでの日赤本社の骨髄バンク事業への取り組みは、残念ながら前向きな姿勢ではありませんでした。ところが、今年7月には各地血液センターあてにいくつもの通達や事務連絡といった文書類が送付されており、そこには大幅な方針転換と受け取れる内容が記載されています。方針転換の方向性は、これまでの消極姿勢

から一転して、私たちがかねてより要望していた内容が実現するなどの、積極姿勢がうかがえるものになっています。これまで、日赤が骨髄バンク事業に対しての基本姿勢を記したものは、平成4年6月22日付の各地センターあて本社通達でした。そこには「ドナー登録推進は本来の業務ではない」「骨髄バンク事業への協力は献血推進に悪影響がないよう十分留意」「関連行事には主催共催は

全国リレー登録報告

各地で展開、でも目標達成には努力が

全国協議会10周年記念事業として、全国協議会の加盟団体とともに取り組んでいる「全国リレー・キャンペーン登録」が6月より展開されています。7月には9カ所、265名のドナー登録、8月は21日現在で5カ所112名で、累計418名となっています。12月までの目標3000人にあと2582人ですが、このままでは目標達成には今後の大幅な登録が必要になります。各地での、さらに強力な取り組みを行うとともに、日赤の新たな針を活用して積極的な展開を各地にお願します。



リレー登録の報告が千葉、愛知、徳島より届いています。千葉ではさつそく日赤の新たな対応があらわれています。なお裏面には各地のたよりに、長野、山形、福島からの報告があります。

例えば、ドナー登録の受付を行っている献血ルームは、環境を整えて登録受付を行う、といったことや、土日祝日に献血を行っている施設はドナー登録受付も臨機対応するよう、等の記載が見られます。また、献血パスなどの移動採血で献血を実施している場合には、並行してドナー登録を受け付けることも書かれています。これは、沖縄で行っている献血並行ドナー登録を、本社が追認する形となったものです。

さらに、これまでにキャンペーン登録会などには、HLA検査の許容量から登録人数に制限が設けられていたが、これも撤廃することが7月26日付の事務連絡文書で明らかになっています。

全国協議会は、この日赤の新しい方針を歓迎するとともに、全国の骨髄バンク推進ボランティアは、地元血液センターと協力して、積極的なドナー登録拡大のための取り組みをしていくことが可能となりました。

が、日赤の体制が整っていないというところで断念した経緯があります。今年日赤より全面的協力が得られマニュアルも作成していただきました。また、登録会での説明は、財団の指導のもと、先般講習を受けたボランティア(梅田)が行うなど初物づくしでした。

今後は、千葉県とも相談して、県内の企業、自治体等と同様の登録会を開催できるよう働きかけて行きます。(梅田)

7月30日、新装なった刈谷保健所にてキャンペーン登録会が開催されました。週一回のドナー登録も今年4月から始まったばかりです。予約11名、当日1名の計12名と、少し寂しい結果となりました。でも、登録して

愛知
予約不要、採血は一回

去る7月23日(日)に徳島では初めて、四国でも2県目となるキャンペーン登録会を開催しました。徳島ミュージカル劇団「びいたあばん」が骨髄移植をテーマにしたミュージカルを上演するのに併せての開催となり、劇の中で骨髄移植への理解を訴えていただきました。ドナー登録者数が全国で最も少ないということもあり、担当課も非常に積極的に医療従事者はすべて県職員で対応。日赤も、当初非常に厳しい態度をとっていたものの、財団や日赤本社からの後押しが効いたらしく、無事開催することができました。結果は、44の方が来場し、43の方が登録、内1名の方は2次検査でした。この43名という数字は、徳島県の年間の登録者数の3分の2に迫る数字となりました。

今後の開催に向けて大きな一歩を踏み出したと思っております。(池田良一)

京都骨髄ドナーを募る会が入会

第4回理事会報告
【協議事項】
・入会申請の承認(京都骨髄ドナーを募る会)
・会費減免、後援申請の承認
・規約諸規程の整備
・白血病フリーダイヤル運営規程について
・佐藤さち子基金運営規程の改訂について
・10周年記念事業の状況
・第23回日本造血細胞移植学会総会について

【報告事項】
・日赤本社方針転換通達について
・来年度総会について

10周年記念事業への協賛金
ありがとうございます。

- 骨髄バンクを支援する南岩手の会
- 藤野 相模湖ライオンズクラブ



去る7月23日(日)に徳島では初めて、四国でも2県目となるキャンペーン登録会を開催しました。徳島ミュージカル劇団「びいたあばん」が骨髄移植をテーマにしたミュージカルを上演するのに併せての開催となり、劇の中で骨髄移植への理解を訴えていただきました。ドナー登録者数が全国で最も少ないということもあり、担当課も非常に積極的に医療従事者はすべて県職員で対応。日赤も、当初非常に厳しい態度をとっていたものの、財団や日赤本社からの後押しが効いたらしく、無事開催することができました。結果は、44の方が来場し、43の方が登録、内1名の方は2次検査でした。この43名という数字は、徳島県の年間の登録者数の3分の2に迫る数字となりました。

去る7月23日(日)に徳島では初めて、四国でも2県目となるキャンペーン登録会を開催しました。徳島ミュージカル劇団「びいたあばん」が骨髄移植をテーマにしたミュージカルを上演するのに併せての開催となり、劇の中で骨髄移植への理解を訴えていただきました。ドナー登録者数が全国で最も少ないということもあり、担当課も非常に積極的に医療従事者はすべて県職員で対応。日赤も、当初非常に厳しい態度をとっていたものの、財団や日赤本社からの後押しが効いたらしく、無事開催することができました。結果は、44の方が来場し、43の方が登録、内1名の方は2次検査でした。この43名という数字は、徳島県の年間の登録者数の3分の2に迫る数字となりました。

去る7月23日(日)に徳島では初めて、四国でも2県目となるキャンペーン登録会を開催しました。徳島ミュージカル劇団「びいたあばん」が骨髄移植をテーマにしたミュージカルを上演するのに併せての開催となり、劇の中で骨髄移植への理解を訴えていただきました。ドナー登録者数が全国で最も少ないということもあり、担当課も非常に積極的に医療従事者はすべて県職員で対応。日赤も、当初非常に厳しい態度をとっていたものの、財団や日赤本社からの後押しが効いたらしく、無事開催することができました。結果は、44の方が来場し、43の方が登録、内1名の方は2次検査でした。この43名という数字は、徳島県の年間の登録者数の3分の2に迫る数字となりました。

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●ホームページで「移植希望患者の早期受入可能な施設一覧表」を公開
財団が認定している非血縁者間骨髄移植施設のなかで、比較的早期に移植希望患者さんの受け入れが可能な病院を、8月14日より財団のホームページで公開し、紹介することになりました。一覧表は、毎月末、財団の各移植施設調査の結果を取りまとめたものです。主治医、患者・家族の方々が、移植病院を決定するうえでの参考となるものと思います。各施設の受入状況は日々変化しますので、実際に受け入れが可能かどうかは、各施設にお問い合わせ、ご確認をお願いいたします。ホームページアドレスは、http://www.jmdp.or.jp/pt またはhttp://www.jmdp.or.jp/pt/Page.htmlです。

●森喜朗総理が演劇「友情」出演者らを激励、骨髄バンク支援を表明
8月16日(水)午後、演劇「友情」の出演者である10歳代～20歳代の若者たち18人と演出家、プロデューサー、当財団事務局など総勢28人が、首相官邸を訪れ、森喜朗総理と面会し激励を受けました。森総理からは「観に行けるようスケジュールを調整している。この演劇を応援していきたい」と支援を表明されました。大阪芸術ホール(9月13日～15日)、神戸朝日ホール(16日～19日)、高槻現代劇場(21日～22日)、池田市民会館(23日～24日)、京都シルクホール(26日～28日)、富田林すばるホール(29日～30日)、八尾プリズムホール(10月1日)です。チケットのお問合せ先は、関西 TEL06-6361-0462です。

●「献血並行型ドナー登録受付」、全国で実施が可能となりました
日赤本社から全国の各血液センターに7月中旬に通知が出されました。献血並行型ドナー登録受付開催を可能とするものです。なお、沖縄では昨年11月より、35回の献血並行型ドナー登録受付会を実施し、383人のドナー登録者を得るという実績を上げています。沖縄の現地関係者によると、年間70回程度は開催が可能とみています。沖縄県の人口は、全国の約100分の1ですので、ひとつの試算としては、全国で年間5千回～7千回程度の開催が可能ということになります。今後、全国各地での関係者間の協議により、無理なく着実に、献血並行型ドナー登録受付会が、早急に広がることを期待されます。

骨髄バンクNOW

●日本骨髄バンクの現状(2000年6月末現在)

	7月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,209	129,779	152,445
患者登録者数	125	1,757	9,659
骨髄移植例数	51	—	2,773

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

●浅草公会堂で「大泉逸郎さん」のチャリティー公演が開催されます
演歌では18年ぶりのミリオンセラーとなった「孫」。この曲を歌っている大泉逸郎さんが、きたる9月7日(木)、東京・浅草公会堂で「骨髄バンク支援のためのチャリティーコンサート」を開催して下さることとなりました。大泉さんは、白血病を発症した息子さんに、骨髄提供したドナー体験者です。公演は、9月7日(木) 昼の部14:00、夜の部18:30の開催です。チケット申込み問合せ先はtel: 03-5237-9999です。

骨髄バンクボランティアダイヤル
フリーダイヤル
バンクに とうろく
0120-892-106

心からのご寄付を ありがとうございました

7月24日～8月21日

八木茂	現金	3,000円
佐藤直哉	現金	3,000円
足立勝彦	現金	300,000円
オクムラトシコ	現金	10,000円
村上順子	現金	3,240円
国際ソロプチミスト豊中一千里	現金	50,000円
土屋恵美子	切手	4,599円
岐阜骨髄献血希望者を募る会 (大泉逸郎リサイタル募金活動分)	現金	50,000円
切明蹊	現金	20,000円
野口祐一	現金	5,000円
多田そうべい	現金	50,000円
佐田蒼一郎	現金	10,000円
酒井安子	現金	3,000円
山村詔一郎	現金	640円
(財)ライオンズ日本財団	現金	1,000,000円

●佐藤さち子患者支援基金

宮城骨髄バンク登録推進協議会	
仙台支部街頭募金	現金 29,298円
切明蹊	現金 20,000円

●あやちゃん基金

吉田町社会福祉協議会	現金 18,562円
骨髄バンクGATHERの会	
原田浩	現金 380円 (敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
とくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

7年前急性リンパ性白血病で7年の短い生涯を閉じた丹後光祐君が、わずか数カ月の学校生



各地の たより

各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

「いのちのあさがお」
活で育てていたアサガオの種を、母親の丹後まきこさんが、種を配り、命の大切さ・尊さを伝えるとともに骨髄バンクへの理解を深めてもらおうと運動を始めた。それから7年、

「いのちのアサガオ」と名付け役の香川京子さんも加わり、炎

天下の中、役場前や駅前などの街頭での骨髄バンクのキャンペーンのシーンの撮影が行われま

感謝状を受け取る森島選手は現在得点王まっしぐら「OSAKA F.C.」



この日の登録は10名、予想を下回る結果ではありましたが。しかし、つばさの会は絶好調。炎天下の一日を乗り越えそうに走り

ドポちゃん 大川はるみ

ねえ コーディネーターさん、患者さんへお手紙を書いたので読んでね。私ももらえるかな?

実は...

わぁうれしい! 私の相手は果の子なんだって!

これは私のためもの... 患者さんありがとう。私もがんばるから。

★私からのお手紙、患者さんに届いたかな?



7月23日(日)、置賜保健所(米沢市、県南地区)で、休日ドナー登録会が行われ、17名が登録して下さいました。(昨年11月、41名) 皆さんにご協力

山形 MAMO展と登録会

たくさん感じて、考えて、いろんな人間に出会って、骨髄バンクじゃなくてもいいから、明日を継いでいく人になってほしいと願っています。

「世の中って結構冷たいんだな」「同じ高校生なのに、無視して

が早く、献血の時に登録できれば...のご意見も複数ありました。また、登録の方法が分らなかった、広報の仕方に一考を、の要望もあり、今後の活動の指

長野 炎天下の登録会

針にしたいと思えました。なお、7月10日、21日、米沢中央郵便局ロビーで「MAMOのメッセージ展」を開催、20日には米沢サティ(市中心街)で、米沢青年会議所、看護学生、会員等16名で街頭キャンペーン(チラシ配布)をし、PRに努めました。



福島 会津田島祇園祭

全国の写真家や俳人が、一度は観たいと心躍らす「会津田島祇園祭」が開かれた日、会場のはずれに位置する南会津保健所で行われたキャンペーン登録会。とにかく町を上げてのお祭りゆえ、果たして何名の登録があるのだろうかと不安でしたが、16名の登録を得ることができました。

今回は決して多い登録数ではありませんでしたが、次に向けて蒔いた種を大事に育てるのみと考えております。また、あやちゃん展の開催とあわせて行った登録勧誘では3名の方に協力頂き、会場でのビデオを観てもらった後、採血は会場近くの骨髄データセンターに私たちボランティアが車でお願いして登録してもらいました。(吉田孝行)

GET POWER! Regain!

三共株式会社

肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に 成人(15才以上)1日1回1本。
J-リゲイン 100ml・194円 / リゲインA 50ml・500円 / リゲイン 50ml・291円 [医薬部外品]
価格はすべてメーカー希望小売価格(本体価格) http://www.sankyo.co.jp/healthcare/

再生つばさの会、
「医療講演会・相談会」のお知らせ

プログラム

- 再生不良性貧血治療のガイドライン 東邦大学医学部 小児科 小原明先生
- 成人「MDS・PNH」の病態と治療 東京女子医科大学 血液内科 溝口秀昭先生
- 小児「MDS」の病態と治療 東京大学医学部 癌病態学研究所 真部淳先生
- 医療相談会(質疑応答) 終了後 懇親会(会費制)

主催 再生つばさの会
共催 全国骨髄バンク推進連絡協議会

日時:平成12年 9月30日(土) 12:00~16:00
場所:千駄ヶ谷区民会館 問い合わせ 再生つばさの会 事務局
渋谷区神宮前1-1-10 電話 3402-7854 0467-32-0886 (関 つたえ) (木) 日
山手線 原宿竹下口下車 徒歩5分
参加費:無料